我が国のプルトニウム管理状況の一部データの修正について

平成 13 年 10 月 23 日

内 閣 府
文 部 科 学 省
経 済 産 業 省

I. 趣 旨

平成 13 年 10 月 2 日に提出した第 40 回原子力委員会資料第 1 号「我が国のプルトニウム管理状況」について、一部のデータに集計ミスがあったことから添付資料の通り修正する。

II. 修正データについて

修正を要するデータは、当該資料 3 頁「国際プルトニウム指針に基づき IAEA より公表されることとなる各国のプルトニウム保有量 (2000 年末現在)」に示したデータのうち、我が国の使用済燃料中のプルトニウム量 (添付資料参照)。集計したデータを精査したところ、福島第一原子力発電所の使用済燃料共用プールに貯蔵されている使用済燃料分の集計が行われていなかったことが判明したため、当該使用済燃料中のプルトニウムを加え 81.5 t Pu に修正する。

III. その他

なお、当該資料 2 頁「我が国のプルトニウム管理状況」及び過去に公表したデータについても精査した結果、間違いの無いことを確認致しました。

国際プルトニウム指針に基づき IAEA より公表されている
 各国のプルトニウム保有量(2000 年末現在)
 (対象：民生プルトニウム及び防衛目的にとり不要となったプルトニウム)

平成 13 年 10 月

(単位：t P u)

	未照射プルトニウム	使用済燃料中のプルトニウム
米国 ²⁾	45.0	327
ロシア	33.4	74
英国 ¹⁾	72.5	46
フランス ¹⁾	81.2	159.8
中国 ²⁾	0	(報告対象外)*
日本	5.3	81.5
ドイツ ¹⁾	7.19	42.65
ベルギー ¹⁾	3.9	17
スイス	0.6	7

注) 上記はそれぞれ自国内にある量。

1) 1999 年末現在 2) 1998 年末現在

* 中国は、未照射プルトニウム量についてのみ公表する旨表明。

(参考) 国際プルトニウム指針について

1994 年 2 月 プルトニウム利用の透明性向上のための国際的枠組みの構築について、関係
 9ヶ国(米、露、英、仏、中、日、独、ベルギー、スイス)による検討を開
 始

1997 年 12 月 プルトニウム利用に係る基本的原則とともに、プルトニウム保有量の公表等
 を定めた国際プルトニウム指針を9ヶ国が採用を決定

1998 年 3 月 指針に基づき IAEA に報告された各国のプルトニウム保有量及びプルトニウ
 ム利用に関する政策ステートメントについて、IAEA が公表